

まとまった降雨により、表層では塩分が低くなっています。

# 東京湾溶存酸素情報

神奈川県水産技術センター

2010/07/06

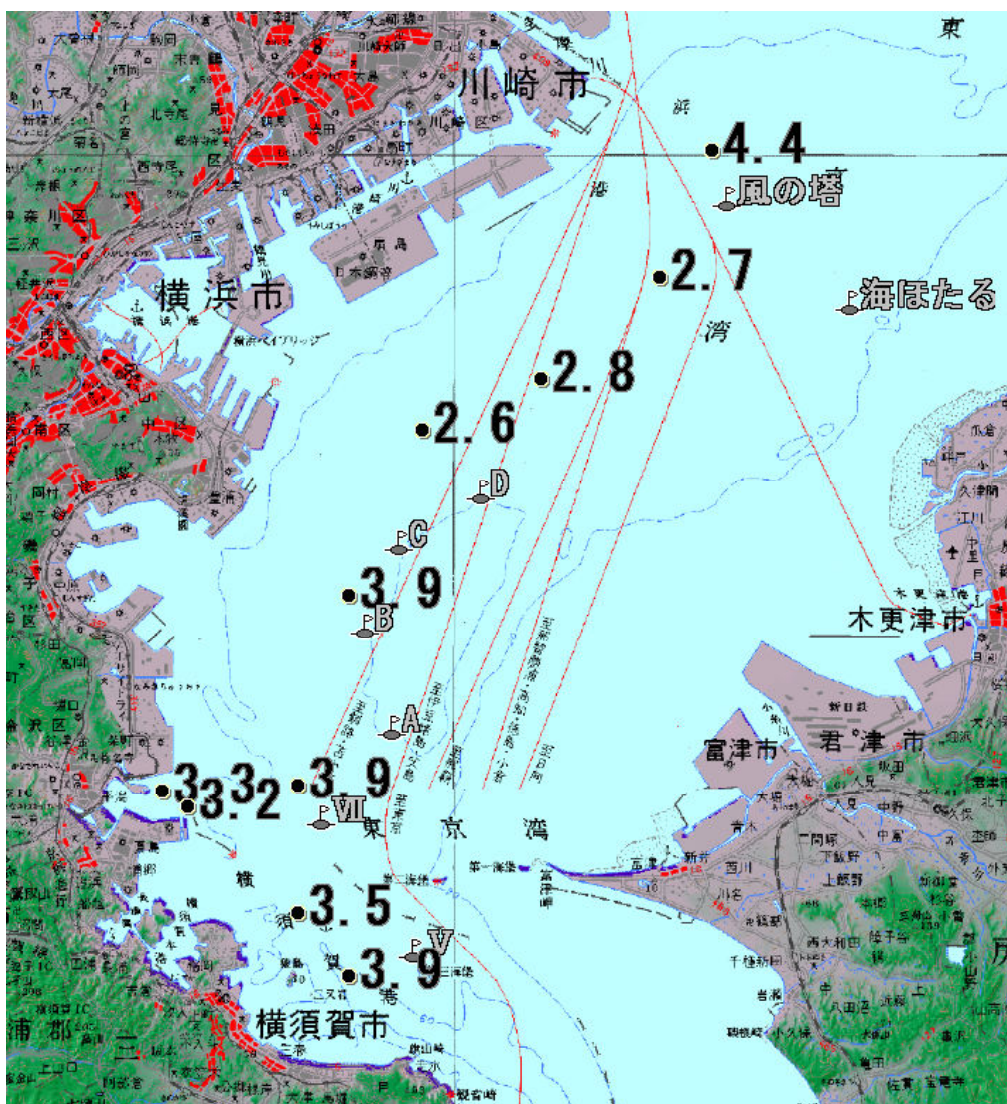
神奈川県小型機船底びき網漁業者協議会が  
横浜市漁協柴支所の平良丸により東京湾調査を実施しました。

○水温は、表層で25~26℃台、底層では15~16℃台です。

○塩分は、表層では18~26台とかなり低いですが、底層は34以上と高めです。

○貧酸素水塊 ( $\leq 2.5\text{ml/l}$ ) は見られません。

○八景島脇のあなご活け場近くでも酸素量は十分にありましたが、表面近くでは、水温は高く塩分は低く、また赤潮状態です。現時点では、深めに活けたほうがよいかもしれません。



底層の溶存酸素量 (ml/l)

発行 神奈川県水産技術センター  
資源環境部 電話 046(882)2313

上下の水温・塩分差が大きいです。  
漁獲物の取り扱いにご注意ください。